

令和5年度野尻湖から関川等へのオオクチバス等 逸出確認調査結果と今後の対応について

資料2

長野県内水面漁場管理委員会 事務局

1 令和5年度野尻湖から関川等へのオオクチバス等逸出確認調査結果

(1) 目的

逸出防止措置が施されている野尻湖から池尻川、農業用水路及び関川へオオクチバス、コクチバスが逸出していないか確認する。

(2) 調査日

第1回目 令和5年7月19日(水) 調査地点：A～H

第2回目 令和5年8月31日(木) 調査地点：A～H

(3) 調査地点(図1参照)

地点	水系	水域の詳細	備考
A	池尻川	逸出防止装置施設 下流	
B	御小屋用水	同上	野尻土地改良区 所管
C	小丸山用水	同上	同上
D	池尻川	赤川合流点 上流約100m	北信漁協 管内
E	池尻川	関川合流点 上流	北信漁協 管内
F	関川	池尻川合流点 付近	関川水系漁協管内
G	関川	国道18号の橋 付近	関川水系漁協管内
H	関川	池尻川発電所調整池からの流出水合流点	関川水系漁協管内

(4) 調査方法

採捕には電気ショッカーを用いた。パルス、電圧は調査水域の状況によって適宜調整し、特に稚魚の採捕に留意して調査を行った。

(5) 調査機関

○第1回目

地点A～Cの調査は、北信漁業協同組合1名及び野尻湖漁業協同組合1名の立ち会い、地点D及びEの調査は北信漁業協同組合1名の立ち会いのもと、長野県水産試験場3名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局(長野県農政部園芸畜産課水産係)1名で行った。地点F～Hの調査は、関川水系漁業協同組合2名の立ち会いのもと、新潟県農林水産課1名と新潟県内水面水産試験場2名、長野県水産試験場と長野県内水面漁場管理委員会については地点A～Eと同様の調査人数で実施した。

○第2回目

地点A～Cの調査は、北信漁業協同組合1名及び野尻湖漁業協同組合2名の立ち会い、地点D及びEの調査は北信漁業協同組合1名の立ち会いのもと、第1回目と同様の人員

構成で行った。地点F～Hの調査は、関川水系漁業協同組合2名の立ち合いのもと、第1回目と同様の人員構成で実施した。

(6) 採捕状況

○第1回目

地点	水系	監視場所	魚種	個体数	全長範囲 (cm)	備考
A	池尻川	1				採捕個体なし
		2				採捕個体なし
		3	コイ	18	4.8～7.0	
			モツゴ	2	5.9～6.1	
			ドジョウ	16	4.9～14.2	
			シマドジョウ	15	5.1～8.1	
ヨシノボリ	8	4.9～6.9				
B	御小屋用水	1				採捕個体なし
		2				採捕個体なし
		3				採捕個体なし
C	小丸山用水	1				採捕個体なし
		2				採捕個体なし
		3				採捕個体なし
D	池尻川	-	コイ	6	2.5～4.0	
			アブラハヤ	8	2.7～3.7	
			シマドジョウ	11	3.6～10.7	
			ヨシノボリ	1	4.5	
E	池尻川	-	ヤマメ	4	9.4～13.4	
			イワナ	1	8.5	
F	関川	-	ヤマメ	4	10.3～16.1	
			イワナ	9	9.2～29.7	
			アブラハヤ	3	7.6～10.2	
G	関川	-	イワナ	6	6.6～31.1	
H	関川	-				採捕個体なし

○第2回目

地点	水系	監視場所	魚種	個体数	全長範囲 (cm)	備考
A	池尻川	1	ヨシノボリ	1	3.5	
		2	ヨシノボリ	2	6.1~6.3	
			コイ	3	7.6~9.2	
			フナ	1	8.4	
			モツゴ	1	7.2	
		3	アブラハヤ	3	4.5~5.9	
			ドジョウ	2	8.7~10.1	
			シマドジョウ	2	3.2~4.4	
B	御小屋用水		ヨシノボリ	2	5.0~6.3	
		1	ヨシノボリ	3	1.9~4.5	
		2	ヨシノボリ	11	2.5~4.1	
		3	ヨシノボリ	50以上	2.1~4.3	
	コクチバス	1	20.4			
C	小丸山用水	1			採捕個体なし	
		2			採捕個体なし	
		3	ヨシノボリ	3	2.5~3.0	
D	池尻川		コイ	3	3.7~7.4	
			フナ	2	3.6~4.0	
			アブラハヤ	6	3.7~5.0	
		-	ドジョウ	1	6.3	
			シマドジョウ	3	4.0~9.0	
			ヨシノボリ	1	2.6	
			ヤマメ	4	12.1~16.7	
E	池尻川	-	イワナ	1	30.5	
			アブラハヤ	1	9.4	
			ヨシノボリ	1	6.1	
			ヤマメ	25	9.0~19.4	
F	関川	-	イワナ	12	7.1~26.9	
			ウグイ	1	16.9	
			ヤマメ	3	13.3~19.0	
G	関川	-	イワナ	15	8.6~28.4	
			イワナ	4	9.2~10.5	
H	関川	-	イワナ	4	9.2~10.5	

(7) 調査結果のまとめと考察

1回目調査では全ての調査地点でコクチバス、オオクチバスは捕獲されず、これらの逸出は確認できなかった。

2回目調査では地点B（御小屋用水、図）でコクチバス1尾（写真1）が捕獲された。捕獲されたコクチバスはその全長（20.4cm）から1歳魚以上と考えられた。設置された逸出防止スクリーン（開口 25、20、10mm）を確認したが、スリットの破損等の異常は確認できなかった。

6月1日に野尻湖が満水位まで水がくみ上げられていたところに、6月2日未明から雨が降り続いたため、東北電力（株）が池尻川へ約20時間（6月2日13:00～翌日9:00）緊急放水を行った。緊急放水に先立ち、池尻川の外来魚逸出防止装置の一時開放をおこなった。今回コクチバスが捕獲されたのは、その際に逸出したコクチバスが約1,400m下流の御小屋用水との合流点（写真2）から御小屋用水へ遡上したためと思われた。

なお、2回目調査では、その他の調査地点ではオオクチバス等は捕獲されなかった。



写真1 捕獲されたコクチバス（全長 20.4cm）



写真2 池尻川と御小屋用水の合流点（写真は平常時の状態）

2 対策と今後の対応について

本年、いずれの調査においても池尻川の地点Dより下流及び関川本流の調査地点ではオオクチバス等は捕獲されなかった。

しかし、2回目の調査において地点Bで1尾のコクチバスが採捕されたことを受け、内水面漁場管理委員会では、野尻湖漁協に対し、同様の事態が発生した場合に委員会への報告を徹底すること、地点A及びBにおいて最低2回連続してオオクチバス等が捕獲されなくなるまで電気ショッカーによる駆除を実施することを指示した。

同漁協では、9月3日、9月7日に地点A及びBにおいて電気ショッカーによる駆除作業を行ったが、オオクチバス等は捕獲されなかった。

なお、緊急放水の6月2日以降、野尻湖漁協に対し、地点Aにおいて最低2回連続してオオクチバスが捕獲されなくなるまで電気ショッカーによる駆除を実施するよう指示し、同漁協が6月5日10時前後及び17時前後に2回電気ショッカーによる駆除作業を行ったが、オオクチバス等は捕獲されなかった。

以上のことから、本年、残り1回の調査の実施に加え、年3回の調査を次年度も継続することで、今後の逸出魚の状況を注視していく。



【図 調査地点】

逸出防止施設等の概要

